

第二
若
松
港
概
況

0881

若松港概況

(昭和十八年十二月上旬調)

一 入出港船舶概數

昭和十八年一月以降ノ一ヶ月平均

汽 船 約

四〇〇隻

七〇〇〇〇總噸

其 他 約

三、〇〇〇隻

一二、〇〇〇總噸

二 石炭積出能力

(イ) 着炭ノ推移

本年中最高ハ三月ノ八七四、〇〇〇噸ニシテ以後漸減ノ一途ヲ辿リ十一月ハ

五三五、〇〇〇噸ナリ

(ロ) 荷役能力

沿岸荷役(実績)

一日 三一、〇〇〇噸

一ヶ月 九三〇、〇〇〇噸

0882

沖積荷役(能力)

炭積船

一日

二、一〇〇艘

一ヶ月

六三、〇〇〇艘

人足

一日

七、五〇〇艘

一ヶ月

二三五、〇〇〇艘

(ハ) 貯炭能力

若松側

二七二、〇〇〇艘

戸畑側

一〇八、〇〇〇艘

計

三八〇、〇〇〇艘

三石炭積出実績

昭和十八年度上半期(四月—九月)

一ヶ月平均

汽船

二六二、八三四艘

四三、八〇六艘

機帆船其他

二、七〇七、五八八艘

四五、二六五艘

昭和十八年十一月

汽 船

二一、五〇〇 吨

機帆船其他

四一五、九六〇 吨

四 八幡鋼材輸送状況

本年初頭相當ノ滞貨(約二八〇、〇〇〇 吨)ヲ見タルモ各方面協力之ガ一掃ニ努メタル結果順調ナル經過ヲ辿リ最近ノ輸送実績ハ計畫量一九〇、〇〇〇 吨ヲ殆ンド完全ニ消化セ

五 港灣荷役

(イ) 石炭積出施設

若松側

シュート

二十四箇

三

0884

戸畑側

ガントリークレーン

二基

一時間

各三〇〇瓩

ホイスト

一基

一時間

九〇瓩

ブラウンホイスト

三基

一日

各四、〇〇〇瓩

ガントリークレーン

二基

一日

各二、〇〇〇瓩

パケツト式炭積機

一基

一時間

六〇瓩

海上炭積船

三隻

一時間

各七〇瓩

(ロ)

若松港運株式會社

資本金

一〇、〇〇〇、〇〇〇圓(全額拂込済)

職員

一九八名

常用勞務者

六三九名

四

0885

施設

炭積船

三隻

(前掲)

舩

九七四隻

一七六、七八〇艘

曳船

四一隻

(所屬傭船ヲ含ム)

本會社ハ洞海灣(八幡製鐵所關係地域ヲ除ク)ニ於ケル石炭及雜貨ノ沖荷役及舩

回漕ヲ擔當ス

(ハ)

洞海灣沿岸石炭荷役統制組合

組合員數

一三名

常傭勞務者

一、四〇七名

(ニ)

洞海灣沿岸雜貨荷役統制組合

組合員數

八二名

五

0886

常備勞務者

一、九八二名

(ホ)

日鐵八幡港運株式會社

資本金

六、五〇〇、〇〇〇圓（全額拂込済）

内 日鐵出資額

三、三七〇、〇〇〇圓

職員

三〇九名

常備勞務者

八、三一四名

施設

船

三二六隻

九三、八七二噸

曳船

二七隻

（所屬備船ヲ含ム）

本會社ハ八幡製鐵所構内ニ於ケル船回漕及沖沿岸荷役並ニ一部構内作業ヲ擔當ス

六 燃料炭

當港ノ地理的位置ノ關係ヨリ焚料炭補給ヲ爲ス船舶ハ極メテ多ク最近ノ一ヶ月平均ハ約

二五〇隻補炭量約六〇、〇〇〇噸ニ達ス

尙關門港ニ舁輸送ニ依リ焚料炭用トシテ廻送セラルルモノ最近ノ一ヶ月平均ハ三、〇

〇〇噸ニ及ブ